

鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!

第16回（1月28日（火）放送分）の概要

今回は、家などの断熱に係る取り組みについて話をします。

鹿角のように冬場寒い北国では、いつでもあたたかいお家というのが本当に理想です！ 夢です！ でも光熱費を考えると難しくて。

確かに、暖かくしようとすると光熱費が多くかかってしまいますね。

冷暖房について、電気代、燃料代を減らすためには、第5回でも紹介しましたが、省エネ性能の高い機器を選ぶということが一つの手段となります。一方で、実は、家の気密性・断熱性を高めるということも重要な手段となります。

鹿角は冬場の気温が県内でも最も低くなるエリアですし、家の中が底冷えするという感覚を、この時期リアルに感じています。

例えば、高機能のエアコンを入れても、家が隙間だらけだったり、窓が一重だったりすると、暖房の熱や冷房の冷気が外に逃げてしまい、冷暖房の効果が減ってしまうとともに、エネルギー代金も多くかかってしまいます。これはもったいないですね。

ということで、鹿角市としても、家の気密性・断熱性を高めることも推進しているところです。

具体的には、壁などの断熱材を性能の良いものに替える、断熱材を厚くする、窓を二重窓や三重窓にする、窓のフレームをアルミサッシから樹脂製のサッシに替えるといった対応となります。

サッシ！そこは気づきませんでした！

あと昔ながらのお家ですと、廊下が長かったり天井が高かったりして、冬場はあたたかい場所と寒い場所の温度差がかなりあるのですよね。

そのとおりですね。その点も非常に重要です。

私たちが家の断熱などを推進しているもう一つの理由は、室内の温度差の問題を解決できるからということですよ。

家の気密性・断熱性を高めると、不要な空気の出入りが減るために、家の室温差を小さくすることができます。これにより、日々の暮らしやすさが増すとともに、浴室

と脱衣所などの温度差により心臓疾患などが起こる、「ヒートショック」のリスクを抑えることができるのです。健康面でもよい効果があるといえます。

また、家の中では必要な換気を行う必要がありますが、これは気密性の低い家での換気に比べて、最低限のエネルギーで効率よくできることとなります。

住宅の気密性・断熱性の向上の取り組みは、寒冷地である鹿角市ではより重要で、より効果的な取り組みといえますね。

環境にも優しく、自分自身の健康にも優しい家づくりですね！

気密性・断熱性の高い住宅への補助ですが、国、秋田県、鹿角市とそれぞれあります。補助の対象となる住宅や、補助の金額、複数の補助金を重複して受け取れるかなど、細かい要件については、いつもながらですが、鹿角市ゼロカーボン推進室、電話0186-30-0249までご連絡をお願いします。

補助金があると、お財布にも優しい！これからリフォームや新築を考えている方にぜひ利用していただきたいですね。

住宅の気密性・断熱性の向上の取り組みは、壁を改修するといった、今後も長く使うことが前提となるハードルが高いものから、窓の取り換え・改修といった比較的簡単にできるものまで色々あります。

また他の地域ですが、高校生が自分たちで、教室などの断熱改修をワークショップ形式で実施したという事例もあります。取り組む方法についても、色々ありそうです。

鹿角でも気密性・断熱性の高い家が増えてきています。確かに新築、改築などされる際には、この観点も含めて検討されるとよいかと思っています。

長く暮らしていくお家ですから、快適・省エネ・健康のために「断熱」という視点も取り入れて、これからは考えていこうと思います！